

関和久上町遺跡（西白河郡泉崎村大字関和久所在）

③ 調査指導委員

伊東信雄（東北学院大学教授）、坪井清足（奈良国立文化財研究所所長）、梅宮茂（県文化財保護審議会委員）、岡田茂弘（国立歴史民俗博物館教授）、進藤秋輝（宮城県多賀城跡調査研究所考古一科長）

④ 調査期間

昭和60年10月7日～11月22日

⑤ 調査結果

5か年計画の4年次目の調査として高福寺跡地点の調査を行った。その結果、奈良～平安時代の大型の掘立柱建物跡、建物跡を囲む柵跡などが検出され、白河郡家関連の官衙施設である可能性が極めて高くなった。したがって、さらに発掘区を拡張し、その性格を究明する。

(4) 埋蔵文化財保護体制充実のための研修

① 第13回福島県埋蔵文化財発掘技術者講習会

- ・期間 昭和60年8月6日～8月10日
- ・会場 助福島県文化センター・国見町徳江廃寺跡
- ・人員 13名
- ・内容 調査計画と方法・県内の旧石器文化・県内の縄文文化・県内の弥生文化・県内の古墳文化・土師器と須恵器・石器と土器の実測・里浜貝塚の調査について・実習（国見町徳江廃寺跡発掘調査）

② 埋蔵文化財センター主催埋蔵文化財発掘技術者研修

- ・石造物調査課程 60年6月4日～6月6日
小野 佳秀 助いわき市教育文化事業団
生江 芳徳 磐梯町教育委員会
- ・写真測定課程 60年4月18日～4月27日
長島 雄一 助福島県文化センター遺跡調査課
- ・縄文時代遺跡調査課程 60年5月10日～5月21日
本間 宏一 助福島県文化センター遺跡調査課
- ・埋蔵文化財基礎課程 60年6月14日～6月20日
小池 昭一 会津坂下町教育委員会
- ・環境考古課程 61年3月7日～3月26日
松本 茂 助福島県文化センター遺跡調査課

(5) 埋蔵文化財保護の普及活動

① 発掘調査報告書の刊行

- ・真野ダム関連遺跡発掘調査報告 VIII
- ・母畑地区遺跡発掘調査報告 20・21
- ・母畑地区遺跡分布調査報告 X
- ・矢吹地区遺跡分布調査報告 VI
- ・国営会津農業水利事業関連遺跡調査報告 IV
- ・一般国道113号バイパス関連遺跡発掘調査報告 II
- ・関和久上町遺跡 IV

(6) 重要遺跡基本資料整備事業

昭和60年度からの5か年事業であり、遺跡周知事業で確認された遺跡のなかから重要遺跡をとりあげ、保護のための基本的な資料を整備した。本年度は浜通り地方を調査対象に、63遺跡の立地、範囲、性格、発掘調査等の成果を示す航空写真や記録類を収集し整備した。

(7) 県内の発掘調査の状況

発掘調査（分布調査を含む）の原因別・方部別件数は、表のとおりである。原因では相変わらず農地開発・土地開発土木工事が上位を占めており、方部別では相双地方の増加が目立つが、これは、相馬地域開発事業に伴う発掘調査が本格化されたことによる。

昭和60年度発掘調査件数（60年3月末現在）

調査の原因	方部								計
	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき		
農地開発(国・県・団体)	1	51	10	22	1				85
” (個人)									
都市計画等		2		2		1			5
道路建設	3	2		5	1	4	3		18
土地開発等土木工事	2	5				38	3		48
宅地造成	3	1		4		1	1		10
環境整備									
重要遺跡確認	1		1		1	1	1		5
市町村史編さん	1			1		4			6
学術調査	1	2					1		4
その他									
計	12	63	11	34	3	49	9		181

4 文化財保存助成の充実

文化財の管理、修理、防災、史跡の公有化及び埋蔵文化財保存調査に対し、次のとおり、助成を行った。

ア 国指定等

単位：千円

事業区分	補助事業者	名称	種別	事業内容	金額				
					総額	国	県	市町村	地元
建造物保存修理	勝福寺	勝福寺観音堂	重文	解体修理	60,000	48,000	4,000	4,000	4,000
建造物 防災施設等	福生寺	福生寺観音堂	”	消火栓設備	9,000	6,750	750	750	750
記念物保存修理	田島町	駒止湿原	天然記念物	木道修理	3,740	1,870	620	1,250	—
”	小高町	薬師堂石仏	史跡	石仏修理	5,500	2,750	910	1,840	—